

令和3年 園内研究テーマ
 「輝く芽を育てよう」
 ~遊びに関わり、豊かな心を育む~

園庭での雪遊び。ぶどう組（4歳児）の子どもたちは、大きな雪の塊を見つけイメージを膨らませ、友達と目的を共有し色々な工夫を重ねて遊びが展開されていきました。

ゆきのかたまりみつけた!!
 ガリガリするー けずろー!

雪の塊を発見し、形状や雪の硬さなどをみてイメージが湧き・・・

★自然との関わり
 ◆硬い雪の塊を削るためにどうするといいか考えて手や腕を使う
 雪の硬さを見て、触れて、スコップの材質も考えながら使っています。

★雪に触れ、遊んでみたいこと、試してみたいことなどを考えて遊ぶ

♥お互いの話を聞き、思いを言葉で伝え合う
 「〇〇しよう」「そうしよう」と友達の気持ちを聞いて受け入れて会話を楽しみながら遊んでいます。



あ! こっちのかたまりもけずってみよう~

削って行くうちに足を入れる穴を作ろうと遊びが展開されていきました。

◆友だちと関わりながらイメージをもつ
 ここに足を入れたら立ちやすいと考えています。

◆自然の形の多様さに気付く
 天気や気温によって雪の質感が違う事、冷たい、寒い等を感じ自然事象を活かしながら遊んでいます。

♥友だちと関わりながら遊ぶ
 ★遊びながらルールや役割を作りだし、より楽しい遊びになるように工夫する
 「僕はこっちを削るから〇〇君はこっち削って」など役割を分担しながら作り、友達と遊ぶことの楽しさを感じています。

削った雪の塊に座り、普通の椅子と比べてみたところ...

◆体を動かしながらイメージを持つ
 削って座って...を繰り返し座り心地がいいように工夫していました。

★目的の実現に向け、考えたり工夫したり、協力したりする

♥共通の目的を持ち一緒に遊ぶ
 友達と穴を掘り、椅子を作るという同じ目的を持って遊んでいます。

★形や大きさを感覚的にとらえる
 大きさをみて椅子にできそう、形を見て、座って見てこんな形にしたら座りやすそうなど感覚的にとらえて遊んでいます。

すわれたけど、ちょっとすわりにくいな~



もう一つの雪玉も使うとより座りやすくなるかも...と考えるとまた新しい物づくりが始まりました。

★予想し試すことを楽しむ
 遊びながらより楽しいものが作れるように考え、何度もやり直し試しています。

◆遊びながらイメージを広げる
 こうしたら椅子になる、こうしたら座りやすくなるなど色々とイメージを広げて思う形作りを楽しんでいます。

♥思いを言葉で伝え、会話を楽しむ
 自分の考えや思いを言葉で伝え、友達との会話を楽しんでいます。



雪質の違いを発見し、遊びが展開されていました。新雪で雪だるまが作れる、雪が溶けてくるとずぼる、かたい雪質で雪玉を作って当たると痛いなどこの雪では何が出来る等気候や気温によって遊び方も変わってきます。遊びによっては使う用具も使い分け、スコップの大小・遊具の材質など用途によって変える等、子どもたちなりに考えて遊びを楽しんでいました。